



福生二中だより

令和2年5月11日発行 No.2

学校教育目標

権尊重の精神に基づき、創造性に満ち、心身の向上をめざし協力できる個性豊かな実践力のある人間を育成する。

- ・豊かな心と知性を養う
- ・強い意志と体力を育てる
- ・勤労意欲と責任感を培う

(発行者 校長 小出 宏)

新しい学年の 学習内容に取り組んでいきます

新型コロナウイルス感染症対策のため、5月31日まで臨時休業が延長されました。学校を再開できず残念でなりません。感染を封じ込めるまでもう少し時間が必要です。さて、これからの3週間、生徒の皆さんは引き続きそれぞれの家庭で過ごすことになります。ここからは新しい学年の学習内容に取り組んでいきましょう。

本日、学年ごとに新しい課題を受け取りに来校してもらいました。また、課題に取り組む際の標準的な時間割も配りました。できるだけ時間割に沿って取り組んでください。時間割通りにできない部分は、別に時間を作って学習しましょう。課題の中に「インターネットにアクセスし動画を見なさい」といった指示があります。自宅で視聴できない場合は、学校に連絡してください。学校で視聴できるように対応します。また、週1回の生徒相談日を設けます。学年ごとに指定された時間帯に来校し、学習の進み具合を報告してください。あわせて学習内容や進め方についての質問、さらに学習以外の様々な相談等についても受け付けます。

なお、保護者の方々も含め、指定された生徒相談日以外でも月～金曜の昼間であればいつでも問い合わせや相談に応じることができます。遠慮なく電話等で連絡してください。

※ 1年生は、上記の生徒相談日以外にスクールカウンセラーの三浦先生による面接を行います。

【保護者の皆様へ】

5月31日までの対応についてのご案内を、本日課題等とともに配布しました。また、この内容は本校ホームページでも確認できます。ご活用ください。

今年度の経営目標について

今年度の経営目標について概要をまとめました。ご確認ください。

■「めざす生徒の姿」について

本校教育目標のもと、次のように【めざす生徒の姿】を示し、加えて本校が【最も重視して培うべき資質・能力】を定め、これらに迫る教育課程を編成・実施いたします。

【めざす生徒の姿】

- 考えを深め豊かに表現する生徒
- 生命を尊重し心身を鍛え健全に生活する生徒
- 自分自身と自分に関わるすべての人を大切にす生徒
- 将来を見据え見通しをもって学び行動する生徒

【最も重視して培うべき資質・能力】

- ① 豊かな言語能力
- ② 計画的に行動する力

■ 中期的目標 (平成30年度～令和3年度まで)

- 1 各教科と道徳、総合、特活等を連動させ、「めざす生徒の姿」に迫るとともに、「最も重視して培うべき資質・能力」を身に付けさせる教育課程を実現する。
- 2 各教科等で育成をめざす資質・能力を「見方・考え方」を軸とした「主体的・対話的で深い学び」を通して育成できるように授業改善を行う。
- 3 道徳、総合、特活の内容の見直しを進め、「めざす生の姿」に迫り「最も重視して培うべき能力」を身に付けるための



4/20.21 教科書配布
ソーシャル・ディスタンスを守って

園芸部が管理する花壇です。美しい花々が皆さんの来校を待っています。



- 目的や手立てを明確化し、効果的な教育活動を追究する。
- 4 コミュニティ・スクール(以下「CS」)としての活動を通して、家庭や地域の人々とともに「めざす生徒の姿」「最も重視して培うべき能力」を共有するとともに、学校と地域社会の協働を進め、教育活動の充実を図る。
 - 5 不登校問題について、CS委員会や外部機関との連携をさらに強化し解決を図る。
 - 6 小中連携事業(二中学区交流会)において、学区全体の児童・生徒の学力や生活状況を情報共有し指導に生かす。特に福生市学力・学習状況調査の結果をもとに、各校共通して取り組むべき課題の明確化や中1ギャップの防止や重点的な育成指針の作成等に生かす。

■ 今年度の目標

- 1 「見方・考え方」を軸とした授業改善を研修テーマとし「深い学び」を追究する。
- 2 道徳、総合、特活等の指導計画等の目的、手立てを「めざす生徒の姿」「最も重視して培うべき資質・能力」を踏まえたものとし成果検証を行い次年度計画に反映させる。
- 3 CS委員会の活動を充実させ、学校支援地域組織における5部門の活動を発足させる。
- 4 「働き方改革」を踏まえつつ、職員一人一人がそれぞれの役割において責任を全うするとともに、相互の信頼と深い生徒理解に基づいた指導体制を築く。